

## 樹木医・鈴木俊行先生の『クリスマスの寄せ植え教室』



質問コーナーでは、さまざまな植物の育て方にも話題が及び、参加者と先生との対話が和やかに続きました。

11月9日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習講座『クリスマスの寄せ植え教室』を開催しました。講師は、樹木医の鈴木俊行先生です。15人が受講し、クリスマスホーリー、ゴシキヒイラギ、ガーデンシクラメンなどを鉢に植え込む“クリスマスの寄せ植え”に挑戦しました。鈴木先生は、使用する土や植物の特徴を楽しいトークで伝授。参加者はレイアウトに工夫を凝らし、それぞれに素敵な寄せ植えを完成させました。



## R 399沿線自治体連絡協議会 長泥地区で景観向上活動



コミュニティーセンター沿いの法面は草刈り機で、峠の展望台は手刈りで丁寧に除草していただきました。

10月27日、「国道399号あぶくまロマンチック街道沿線自治体連絡協議会」が、長泥地区で「景観向上活動」を行いました。当日は協議会のメンバーの他、福島県ふたば復興事務所からも参加があり、14人が長泥コミュニティーセンターに集合。村職員から地区の現状について聞き、事前に行行政区に相談して決めた2か所の草刈りや除草を行いました。今年2月に発足した同協議会の「景観向上活動」の実施は今回が初めて。長泥地区を「沿線の花の見所」として活動場所に選んでいただきました。

## 総務省デジタル活用支援推進事業 スマートフォン教室を開催中



写真は11月13日の教室の様子。スマホの活用方法が学べる他、スタッフが参加者の疑問に答えます。

交流センター「ふれ愛館」で、『スマートフォン教室』が開催されています。この教室は、9月に終了した「イタネちゃんお知らせアプリ交流会」を運営していたテクノマインド株式会社が、総務省の事業を活用し、来年2月までの全9回で実施しています。各回12人定員で、テーマが設けてあるので、詳しくは全戸配付のチラシでご確認ください。こちらのQRコードからもご覧いただけます。電話でのお申し込みは村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613まで。



## バランスのよい食事をとろう！ からだを整える栄養教室



“男性参加・1人参加・夫婦参加・友達参加”いずれも大歓迎！調理は見学でもOKというアットホームな教室。

11月6日・7日、交流センター「ふれ愛館」で、栄養教室『からだを整える！バランス食教室』を開催しました。教室では栄養士がバランスよく食べることの大切さを伝え、1日分の食事の目安を模型などで説明。献立の一例として、「豚肉と野菜の甘酢炒め」「ホウレンソウの海苔あえ」「具だくさん味噌汁」「季節のフルーツヨーグルトソース」などを、参加者が協力して調理しました。テーブルには彩り豊かな料理が並び、参加者が「食材の組み合わせが新鮮」「参考になるね」と会話を弾ませました。

## 身近な人の悩みに寄り添う ゲートキーパー養成講座



「ゲートキーパー」とは、死を考えている人に出会った時、悩みに気づき、支援につなげる人のことです。

11月16日、いちばん館で、『令和5年度ゲートキーパー養成講座』を開催しました。講師を務めた臨床心理士・公認心理師の高橋紀子先生は、震災後、県内を中心に心の支援に尽力されてきました。今回の講演では、「死にたい気持ちを受け止め、支援する」をテーマに、再現動画などを通して、ゲートキーパーとしての心得、自殺の危険を判断するポイントなどを学びました。また、質疑応答では参加者の質問に対し、高橋先生が自身の体験を踏まえて回答しました。最後には参加者全員に修了証が渡されました。

## F-REI (福島国際研究教育機構) 座談会が行われました



質問に答えるF-REIの山崎光悦理事長(奥中央)。各分野の技術革新の現状などを説明し対話を深めました。

令和5年4月に国が設立したF-REI(福島国際研究教育機構)の代表や関係者が、11月6日、村を視察し、村役場で座談会を開催しました。F-REIは、技術の研究と社会実装・産業化、人材育成などに取り組む機関。「創造的復興の中核拠点」として、浜通りをはじめとする地域の発展・振興にも取り組みます。座談会には杉岡村長と共に、商工会・森林組合・農家の皆さんなどが出席し、それぞれの取り組みや直面している課題、技術革新への期待などを語りました。